

山びこ

YAMABIKO

2019
(平成31年)

4月号



東葛山の会



No. 497

4月・5月 予定表	1
3月例会報告（1出席者・2山行実績・3議事録）	2～6
山行案内(4月・5月・6月)	7～10
山行報告	
・オーストラリアの旅（加藤・嶋本）	11
(五十嵐朝)	12
(山口幸・洋)	13
(菊池)	13
(桐生)	14
(鈴木か)	15
・オーストラリア大陸最高峰コシオスコ山に登る（安彦）	16～19
・志賀高原スキー（石塚）	20
・八方スキー（井上順）	21
・スキーをしてみませんか（池谷）	22～23
山に登らず電車汽車（小林正）	24～25
短歌 オーストラリアの旅を振り返って（羽鳥）	26～27
思い出の山（加藤）	28
ちよつと言（鈴木隆・加藤）	29

表紙写真紹介

2015年8月に石塚さんと二人で、上高地から入り、蝶ヶ岳ヒュッテ、大天井ヒュッテ、槍ヶ岳山荘、鏡平山荘に泊まり、夜行4泊5日の槍ヶ岳をぐるりと回る大縦走をしました。写真は東鎌尾根から遠くに見える槍ヶ岳を目指して出発した頃です。お天気に恵まれ、暑くてへばりそうになった日でした。

～桐生千恵子～

会報部からのお願い <表紙写真>

5月号は村上和子さん、6月号は八巻幸子さん、よろしくお願ひします。その際、100字程度の紹介文を添えて、前月第二例会までに、会報部（鈴木か）へ提出してくださるようお願ひします。

予定表 2019年 4月・5月

日	曜日	4月	日	曜日	5月
1	月		1	水	
2	火		2	木	
3	水	第一例会 (18:00~) 例会後愛宕山他説明会	3	金	憲法記念日
4	木		4	土	みどりの日
5	金		5	日	こどもの日
6	土		6	月	振替休日
7	日	三つ峠山	7	火	
8	月		8	水	第一例会 (18:00~)
9	火		9	木	
10	水	山行部会	10	金	
11	木	神成山 (県連) 雨天決行	11	土	
12	金		12	日	鳴虫山
13	土		13	月	
14	日	愛宕山~難台山~吾国山	14	火	
15	月		15	水	山行部会
16	火		16	木	
17	水	第二例会	17	金	
18	木		18	土	箱根旧街道ウォーキング
19	金		19	日	予備日 (旧街道)
20	土		20	月	
21	日		21	火	
22	月	編集会議	22	水	第二例会
23	火	カラー印刷 (加藤宅)	23	木	
24	水	鳴虫山説明会 (19:00~21:00)	24	金	
25	木		25	土	
26	金	会報部印刷 (5月号)	26	日	〔 笠取山 (一泊二日) 編集会議
27	土		27	月	
28	日		28	火	カラー印刷 (加藤宅)
29	月	昭和の日	29	水	
30	火		30	木	
			31	金	会報部印刷 (6月号)

※2019年6月の予定 ★6月30日 (日) 東葛山の会の総会です。
★6/2(土) 伊豆ヶ岳 ★6/28(金) ~6/29 (土) 守門岳
★会計より・・・2019年前期会費¥4000・・・5月例会で集金します。
※県連より・・・6/8 (土) 初級登山講習 (鹿沼、岩山)

例会報告

第一例会出席者

2019/3/6

44名

安彦、松本、加藤、桐生、村上和、八巻、伏見、高見、前田延、山岡、村田、入江、高山、鈴木か、渡邊、五十嵐朝、四元、江崎、池谷、永木、石塚、嶋本、菊池、猪狩、羽鳥、井上勝、山脇、梅田、逢地、前田節、赤塚、菅谷、星田、山口洋、蓮見、菅原、井上順、山口幸、清水、畑中、高木、村上義、金子、笹

第二例会出席者

2019/3/20

36名

安彦、松本、加藤、桐生、村上、八巻、小林和、伏見、高見、前田延、間瀬、渡邊、五十嵐朝、四元、江崎、三橋、永木、石塚、猪狩、羽鳥、山脇、梅田、逢地、前田節、赤塚、菅谷、星田、山口洋、蓮見、菅原、小林正、井上順、清水、畑中、高木、金子

2019年2月山行報告

山名	ジャンル	日	山行区分	人数	参加者
シダゴ山	ハ	2	会	22	山口洋、高見、井上順、桐生、加藤、村上、伏見、小林和、前田延、五十嵐朝、四元、江崎、永木、嶋本、菊池、井上勝、梅田、菅谷、菅原、小林正、山口幸、高木
芦ヶ久保「氷柱」鑑賞と横瀬町札所巡り	ウ	3	会	15	松本、羽鳥、八巻、山岡、高山、鈴木か、池谷、猪狩、五十嵐幸、前田節、星田、前田悟、蓮見、五十嵐朝、菊池、
オグナほたかスキー	雪	7~9	会	11	池谷、赤塚、畑中、安田、江崎、羽鳥、山口洋、蓮見、菅原、井上順、金子
城山 湯河原梅林 幕山	ハ	14	個	5	山口洋、井上勝、蓮見、菅原、前田節
大山(丹沢)	ハ	16	会	8	手塚、安田、桐生、五十嵐朝、江崎、永木、嶋本、逢地
三浦アルプス	ハ	17	会	19	小林和、加藤、石塚、村上、八巻、高見、前田延、山岡、村田、鈴木か、四元、池谷、井上勝、山脇、梅田、星田、菅原、小林正、高木
たかつえスキー	雪	17~19	個	5	五十嵐朝、五十嵐幸、菊池、羽鳥、井上順
たんばらスキーパーク	雪	21	個	6	畑中、蓮見、池谷、石塚、菅原、金子
御殿山・鷹取山	ハ	21	個	8	安田、小林和、伏見、江崎、菅谷、小林正、嶋本、前田節
手稲山スキー	雪	25~26	個	1	井上順
鹿沼岩山(栃木の山150)	ハ	26	個	1	安彦
志賀高原スキー	雪	26~28	個	3	羽鳥、池谷、石塚 他1名
たかつえスキー	雪	28~3/2	個	3	安田、江崎、菅谷

古…古道 ハ…ハイキング ウ…ウォーキング 沢…沢登り 縦…縦走 岩…岩登り 雪…雪山、スキー

3月例会議事録

(記) 井上順

第一例会 3月6日(水)

☆ 2月山行報告 P2参照

計13件(会山行5件、個人山行8件)参加人員107名、内スキー6件29名
雪を想定しアイゼンを持参した山行が3件、何れも使わなかった(雪が少ない)
スキーへの新規参加者が目立った

☆ 山行案内

- ・3/4 飯盛山(猪狩)雪が少ないため中止
- ・3/23 和紙のふるさと小川町の里山に触れるハイキング(入江)
詳細1・2月号参照 今日募集した参加希望者をベースに計画書を作成
次回例会で出欠確認 駅で「東武健康ハイキング」のパンフを入手する
- ・3/30~31 平標山・坂戸山(菅谷)詳細2月号参照 変更なし
- ・3/31 小倉山とザゼンソウウォーキング(松本)計画書第二例会時配布
- ・4/7 三つ峠(松本・山口洋)タクシー3台のみ 参加人数調整が必要
- ・4/14 愛宕山・難台山・吾国山(菅谷)今日参加者募集
- ・5/12 日光・鳴虫山(安彦)説明会の場所未定、鎌ヶ谷・白井の4/15付
広報に載る
- ・5/18 箱根旧街道ウォーキング(山岡)案内通り
- ・5/26~27 笠取山(江崎)10名程参加して欲しい。事前確認 挙手9名
(除;担当者)

県連

- ・群馬県富岡アルプス:神成山(羽鳥)大型バスにする(39名参加予定)当会
28名参加。参加人数が増えたので会費¥7,000→5,000

海外

- ・オーストラリア;コジオスコ山(安彦)当会12名参加 計19名

☆ 各部報告

山行部(菅谷)

- ・3/13(水)山行部会 6月の会山行「伊豆ヶ岳」検討。「個人カード」検討
- ・来年度会山行アンケート 未提出者は急ぎ提出を

会報部(梅田)

- ・3月号本日 配布。山にまつわる色々な情報を提供して欲しい

事務局（四元）

- ・ふれあい祭り報告 参加者 2,809 人（昨年度 3,197 人）当会参加者 30 名
- ・わかめ販売 200 個（単価¥500）売り上げの一割当会へ戻入・・・等
- ・来年は展示場所が変わる
- ・新会員「笹さん」3月から入会
- ・山行報告 「会報原稿執筆者」「写真提供者」、「例会時の報告者」を事前に決めて欲しい。写真は会報部、事務局（清水）両方へ送る
- ・ウォーキングの写真が集まりにくいので協力を
- ・例会の開始時刻 5月から実施予定、会議時間は2時間
希望開始時刻（挙手） 18:00～12名、18:30～20名、19:00～5名

県連（羽鳥）

- ・2/21 代表者会議 会計報告 会員数減少対策話し合い
- ・4/6 雪上訓練 当会参加者無し
- ・6/8 鹿沼・岩山 初級実技研修 第二例会で募集
- ・11/9・10 事故防止交流会（富津）
- ・県連行事がある時は、山行を外してほしい

会長

- ・海外登山 中国 現在13名応募
- ・県連代表者会議
会員数減少（退会者の増加）の現状説明及び対応策について、県連や各会の意見を報告。詳細は「ちばニュース」4月号に掲載予定

その他

- ・県連「岩山」勉強になるので参加を薦める（江崎）
- ・会山行 出欠表の△の扱い；△を書いた人は、その後の対応は自己責任、山行一週間前迄に連絡がない場合は自動的に不参加とする（渡辺）
- ・回覧順の徹底
- ・スポーツ保険の支払い 第二例会に必ず（伏見）
- ・「山行案内」原稿、山行部会でOKが出たらすぐに会報部山岡へ配信してほしい（山岡）

第二例会 3月20日(水)

☆ 山行案内

- ・ 3/23 和紙のふるさと小川町の里山に触れるハイキング(八巻)
CL変更;入江→高山
- ・ 3/30~31 平標山・坂戸山(菅谷)変更なし
- ・ 3/31 小倉山とザゼンソウウォーキング(松本)9名参加
- ・ 4/7 三つ峠(松本)下見の結果河口湖へ下山、山頂雪あり(30Cm)雨が降った場合はアイゼン必要
- ・ 4/14 愛宕山・難台山・吾国山(菅谷) 会員22名参加
一般応募者;問合せ3件、推定9名程参加するかも?
- ・ 5/12 日光・鳴虫山(安彦) 公募;鎌ヶ谷・白井の4/15付広報に載せる
説明会;4/22 19~21:00、会員の協力参加お願いしたい
- ・ 5/18 箱根旧街道ウォーキング(小林正) 昨日下午見実施、昼食は恩賜公園、
日帰り温泉検討、所要時間は予定より1時間程長くなる、交通費+¥620
- ・ 5/26~27 笠取山(江崎)長い林道を歩かないコース検討中

県連

- ・ 群馬県富岡アルプス:神成山(羽鳥) 当会29名参加、雨天決行
下見実施、水場・トイレ少ない、展望良い、市役所駐車場(福祉会館側)
10台分予約

☆ 各部報告

事務局(四元)

- ・ わかめ販売 売上金 ¥100,000のうち ¥28,000 当会に戻入
(前回報告した一割を訂正)
 - ・ ロッカー抽選 No.14 ゲット(大きい)。 4/12 サークル懇談会開催
- 山行部(菅谷)
- ・ 新個人カード配布 記入方法説明
労山基金の加入口数;救出にヘリコプターを使う判断材料になる
ラミネートは自分で実施、個人カードは山以外でも活用できる
 - ・ 山行参加確認書;メール配信済み。来年度の山行募集本日締め切り(永木)
- 会報部(梅田)
- ・ 7月号で発行回数500回を迎える。記念特集記事にアイデア募集

県連（羽鳥）

- ・3/14 理事会はオーストラリア山行参加で欠席
- ・6/8 鹿沼・岩山 初級実技研修 7名参加予定

会長

- ・次回例会開催時刻 18:00 間違わないように
- ・預かっていた旧個人カードは各自に返却
- ・「コジオスコ山」の集合写真回覧。現地から大容量ファイル転送サービスを利用して届く（利用期間3日間、要注意）
- ・オーストラリア山行で体調不良者が出る。原因不明、症状バラバラ、未だ体調の優れない人は検診を進める
- ・中国山行 18名参加 4/26(火)締め切り

その他

- ・県連ハイク（小林正）
県連からの情報がはっきりしない。確認し4月第一例会で説明する多くの参加を希望
- ・スポーツ保険 3名未払い 連絡する（伏見）
- ・発信したメールを見て欲しい、「迷惑メール」に入っている可能性もあるので確認を（会長）
- ・「やまびこ」「ちばニュース」「登山時報」古い物あり、希望者どうぞ（高見）

以上

会報部からのお願い

月刊やまびこ誌は7月号で通算500号に到達します。会報部では500号記念の編集企画を検討しています。編集会議では、様々な意見がありました。

例えば、

- ① 500mの山、②今年の干支の亥（猪）の名の付いた山、
- ③ 年号が改まって新元号に因んだ山、④とっておきの山の話（写真）、
- ⑤ 昔の（若かった時）の写真とそのコメント、⑥創設当時の会員の苦労話、
- ⑦ やまびこ誌の編集に係る裏話、等々・・・

会員の皆さまからの意見やアイデアをいただき、特別な「500号やまびこ誌」を編纂したいと思います。どうぞ斬新な企画や希望をお寄せいただきたくお願いいたします。

会報部員一同

山行案内

4月の山行予定

***三つ峠(1,785m) ややきつい山 (体☆☆・危険★★)**

日 時： 4月7日(日) 集合場所：三つ峠駅 (富士急行線)
担 当：(CL) 松本、(SL) 山口(洋)・菅原

***愛宕山～難台山～吾国山(茨城) (☆☆)**

「山行のおさそい」(会員外参加募集) 実施山行

日 時： 4月14日(日)
担 当：(CL) 菅谷、(SL) 赤塚・安田

※4月3日(水) 第1例会後 20:00～説明会

5月の山行予定

***日光：鳴虫山(兼一般募集) (☆☆・★)**

「山行のおさそい」(会員外参加募集) 実施山行

駅から歩き始め、ツツジを愛で、木の間から男体山、女峰山、赤薙山を望み、日光の街並みを見下ろし、春の風を感じながら歩きたいと思います。

日 程：5月12日(日) <日帰り>

集 合：東武新鎌ヶ谷駅改札口前 午前5時15分

交 通

(往 路) 新鎌ヶ谷 5:26 (大宮直通) →春日部 6:29_6:44→南栗橋 7:01_7:02→東武日光 8:16

(復 路) 東武日光発 16:00、16:28、17:32、18:13 など

※往復共に、春日部～東武日光には直通普通電車はありません。

ハイク：

東武日光駅(トイレ) 534m…登山口…天王山 620m…神主山 842m…鳴虫山 1103m

…合峰 1084m…独標 925m…含満ヶ淵(トイレ) …神橋(トイレ) …東武日光駅

歩行時間：5～6時間、 歩行距離：約10キロメートル、 標高差：約570m

交通費：2,716円(ICカード利用)(電車往復：新鎌ヶ谷駅起点)

備考：①4月15日付の広報(鎌ヶ谷市&白井市)にて一般募集を行い、4月24日(水)

午後7時から説明会を開き、参加者の受付を行います。

②鳴虫山～合峰～独標はアップダウンの連続で、急な下りに注意を払う必要あり。

③途中駅から乗車の方は、電車の中で合流してください。

担 当：(CL) 安彦秀夫 TEL：090-5827-0571 (SL) 逢地春夫・井上勝代

※4月24日(水) 19:00～21:00 説明会

*箱根旧街道ウォーキング

杉並木や石畳が残る道に江戸時代の旅人をしのんで歩きます。

日時：5月18日（土） 予備日5月19日（日）

交通

（往路）東武鎌ヶ谷 7:06—船橋 7:16_7:29（快速）—品川 8:06_8:13（東海道線）—小田原 9:21_9:30（箱根登山鉄道）—箱根湯元 9:45

10:08（箱根登山バス）—箱根関所跡 10:45

（復路）：畑宿バス停 13:48—箱根湯元—14:14～箱根湯元 14:34…小田原～15:04—戸塚 15:41—船橋 16:52

※畑宿からのバスは30分毎

コース：11:00 杉並木…興福院…箱根馬子唄の碑…甘酒茶屋…七曲り坂…畑宿バス停

歩行時間：2時間 歩行距離 5, 5km

※箱根湯元で解散予定

交通費：休日パスで2670円 バス代1350円

担当：(CL) 小林正、(SL) 山岡

*笠取山 ややきつい山（体☆☆ 危技★）

美しい新緑とツツジを楽しむ一泊二日の山旅

日時：5月26日（日）～27日（月）

交通：集合 塩山 9:00

5/26: 塩山 9:00—タクシー1:00—作場平…2:00…笠取小屋（荷物置き・昼食 30'）
…1:00…山頂…30' …水干…40' …笠取小屋 ※歩行時間 4:10

5/27 笠取小屋…30' …雁峠…40' …燕山…30' …雁峠…2:30…新地平—バス—塩山 ※歩行時間 4:10

新地平バス 15:13 又は 16:28

エスケープルート：往路を戻る

山の特徴（危険）：急場・岩場

交通費：ジパング利用、タクシー代 ¥11,000—位

宿泊費：素泊り ¥4,000—

昼食：2食 夜と朝の食材

担当：(CL) 安田、(SL) 伏見・江崎・蓮見



6月の山行予定

*伊豆ヶ岳 (851m) (☆☆)

奥武蔵のポピュラーコース、ツツジが見頃の稜線と名刹「子の権現」を辿る。

日 程：6月2日(日) <日帰り> 予備日：6月9日(日)

交 通：集 合 6:50 (池袋駅・西武線)

(往路) 新鎌ヶ谷 5:50—松戸 6:08_6:15—日暮里 6:31_6:34—池袋 6:47_【西武線・池袋 6:50 集合】 7:05—正丸 8:29 正丸駅(登山口)

(復路) 吾野駅(下山) 14:50_15:10—飯能 15:31_15:35 池袋 16:15 以下往路
他にも 15:37—16:47 16:04—17:17 16:18—17:34

コース：正丸駅…伊豆ヶ岳…中ノ沢頭…天目指峠…子の権現…吾野駅(下山)

9:00 11:00-11:40 12:20 12:40 13:30 14:50

*エスケープルート：①正丸峠から正丸駅 ②天目指峠から西吾野駅

③子の権現から西吾野駅

*軽度の岩山だが関東ふれあいの道で比較的整備されたコース

駅から駅と交通至便

歩 程：累計標高差又は標高差・登り(800m、2時間)、下り(950m、3時間) 12Km

交通費：約2,500円(新鎌ヶ谷から往復)

*他のルートで行く人は担当者までご連絡ください

担 当：(CL) 梅田、(SL) 畑中・星田・前田節

*守門岳 200名山 (体☆☆ 危★)

花と越後の山々の展望を楽しみます。夏山に向けてのロングコース。

日時：6月28(金)、29日(土) 雨天中止

交通

(往路) 東京駅 10:20_11:59—越後湯沢 12:15_12:56—小出 13:11_13:56—大白川駅

(復路) 大白川駅 16:10(これ一本)—16:53 小出 17:07_17:15—浦佐 17:59_19:34 上野駅

集合場所：大白川駅 14:00 宿からお迎え

コース：保久礼登山口…0:50 キビタキ避難小屋…1:20 大岳…0:50 大岳分岐
0:45 守門岳 0:40 小烏帽子 1:00 分岐 0:40 大白川登山口

歩 程：累計標高差 登り 754m ・ 下り 910m 歩行時間 6時間強 +休憩

山の特徴：急登、雪渓、ヒメサユリ、展望、下山コースは急な下りとなる。

エスケープルート：なし

交通費概算：電車ジバンク使用 13,000円 登山口まで送迎 10,000円÷人数

宿：民宿「休み場」一泊二食 7,500円

日帰り入浴 宿で 300円

担当：(CL) 五十嵐、(SL) 菊池、嶋本、清水

※6月27日(木)泊 6月28日(金)個人山行で浅草岳(1585m)登山を予定しています。

六十里越登山口ー鬼ヶ面山ー浅草岳ーネズモチ駐車場コース
「健脚向き」アップダウンが多く痩せ尾根、浅草岳まで 5:00 ネズモチ平まで
2:30 7時間30分+休憩

県連予定行事

***群馬県富岡アルプス：神成山 (第21回 県連ウイークデー山行)**

山行日： 2019年04月11日(木) 日帰り バス利用 雨天決行
担 当：羽鳥・八巻

***初級登山講習**

6月8日(土) 9時~16時 場所 鹿沼・岩山
趣 旨：登山初心者に対する基礎実技
担 当：羽鳥

***事故防止 経験交流集会**

11月9日(土)13時~10日(日)12時 富津 市民の森
趣 旨：事故の共有化、再発防止と各会交流
担 当：羽鳥

海外登山

***中国 『大姑娘山 5025m』登頂とブルーポピーウォッチング10日間**

7月6日(土)~15日(月・祝)

- ① 大姑娘山登頂グループ
- ② 高山植物ウォッチンググループ

※山行計画が承認されましたら、山岡まで送付してください。

オーストラリア感想

加藤 延子

天気・参加者・ガイドさんに恵まれた楽しい旅で、思い出の風景があり過ぎ、交通整理中です。・・・今、パッと浮かんでくるのは、バス移動での車窓風景です。高速で何時間走っても、走っても、景色が変わらない・・・居眠り・本眠りから目覚めても同じ風景？・・・果てしなく広がる丘陵地帯の見事な牧場風景です。季節的に牧草地は枯れ草色です。家畜さんは遠くで小さく、ポツン・と草を食べていました。北海道に似ているな～～ですが、違うんです、牧草ロールが転がっていない、牧舎や住人の家も見えない、日本なら木に囲まれた大きな屋敷がドカンとありますよね。廣大過ぎ我々の視線にない所に建っているのかも・・・

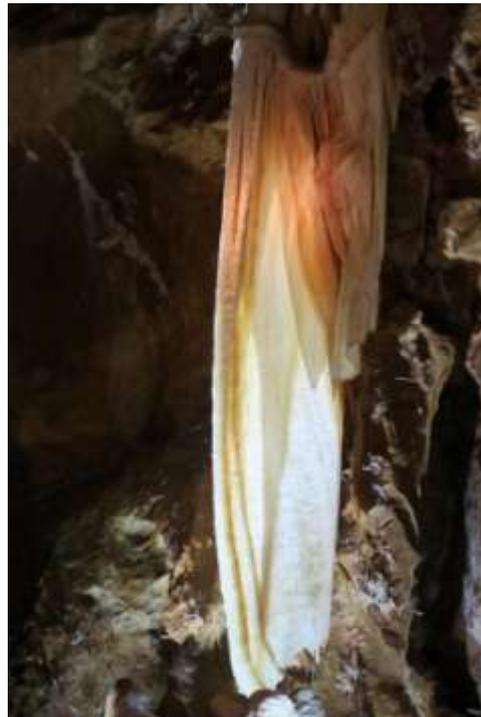
北海道と同じは、敷地の区切りにポプラ並木が沢山林立していて、葉の緑が風に揺れキラキラ輝いて見えるのが、色の無い風景に少し味をつけてくれました。とにかく廣大！雄大！のオーストラリアの景色でした。

皆さんの暖かい見守りのおかげで、行ってこられました。ありがとうございました。

嶋本 道子

オーストラリアにきて、雄大な景色を感じながらのブルーマウンテンズハイキング、野生のカンガルーとも出会い、毎日ルンルンで楽しく過ごしました。

その中でも一番感動したのが、ジェノランケーブ(世界最古の鍾乳洞 3億4千年前)で鍾乳石の美しさは、自分の想像を遥かに超えるものでした。又、この中でアベマリアを聞くことができ良かったです。



ジェノランケーブ・天使

オーストラリアの旅

記：五十嵐朝子

何年ぶりかの海外ツアーに参加して、お天気に恵まれた事が何よりでした。全ての日程が終わってキャンベラからシドニー空港へ向かう時は、雷やどしゃ降りの大荒れでした。

ブルーマウンテンズのトレッキングや、コジオスコ山トレッキングの移動中は雲が厚く、お天気を心配しましたが、どちらも目的地に着く頃は雲が取れて素晴らしい天気になりました。ブルーマウンテンズはユーカリと巨岩がむき出しになった地層が、日本ではなかなか目に出来ない景色に感激しながらのトレッキングでした。

世界最大級のジェノラン鍾乳洞のスケールの大きさと美しさに感声や溜息がでました。鍾乳洞のコースの沢山ある中、ビッグコースと言われる2コース（今回のツアー会社しか手掛けていない）をゆっくり説明を聞きながら歩き、最後に音響がとてもよいと3曲の音楽をかけてくれて、これまた突然の演出にびっくりしましたが貴重な体験が出来ました。

1300mの高地のバス移動（約7時間）牧場が延々と続き、牛と羊がほとんどですが、のんびり残り少ない草を食べていました。

コジオスコ山はよく整備されたトレッキングコースをゆっくり5時間かけて歩きました。

真冬並みの気温の低さと強風、体を縮めながら歩きました。時々、立ち止まり雄大な景色を望みました。山頂では岩陰で風を避けて、ガイドさんが用意したホットウーロン茶をいただき、体の芯まで温まった気がしました。写真も撮り、早々に下山しました。

大半の人が体調不良の中の登山でした。無事に下山出来て本当に良かったです。

安彦さんも体調の悪い中、皆さんの気配りをしながら無事、日程を終え成田に着いた時は安堵感と、肩の荷が降りた事でしょう。安彦さんはじめ参加された皆様に感謝いたします。



ブルーマウンテンズ プルピットロック展望台

大満足の豪州ハイキング

山口 幸雄・洋子

出発前は検疫が非常に厳しいとの話でしたので、持ち物については神経質になるほどでした。申告を怠ると豪ドル 220、場合によっては豪ドル 60, 000 の罰金もありとか。入管では何事も無く入国できました。まずは一安心です。食べ物を持ってくればよかったと思うほどです。

世界最大級の鍾乳洞は規模、色彩も最高で時間の経つのを忘れるほどです。ブルーマウンテンズでの幾つかの展望台も思い出に残る景色です。今回もその他沢山の観光等贅沢な企画で楽しい思い出ありがとうございました。

オーストラリアの 8 日間の旅を終えて

菊池 光子

オーストラリアと言うと野生のカンガルーとオペラハウス（シドニーオリンピックの時テレビで拝見）の知識位しかなく、参加することになってびっくりです。世界遺産ブルーマウンテンズ、断崖絶壁からの雄大な眺望、雑誌そのもの。世界最古の鍾乳洞ジェノランケーブは、日本では見られない鍾乳洞で、コースも幾つもあり、音楽も聞く事ができ感動しました。ユーカリ樹海を歩いて沢山のカンガルーを見る事ができ癒されましたね。

ユーカリの 800 種類にはびっくりです。今回の最大の目的、最高峰コジオスコ山登頂前夜は体調が悪くてあまり眠る事が出来ず、リフトで上り下り利用だったので登る事ができました。高度がないが、ロングコーストレッキングで景色は素晴らしく、お花はデイジーが咲き残っていました。

また、国会議事堂、戦争記念館などと、盛り沢山の計画を有難うございました。ご一緒の皆さん楽しいオーストラリアの旅を有難うございました。



ブルーマウンテンズ

___オーストラリアを歩いて___

桐生千恵子

飛行機の小窓から見えたオーストラリア大陸。乾いた赤い大地に「地球の反対側に来たんだあ〜」と…実感した。

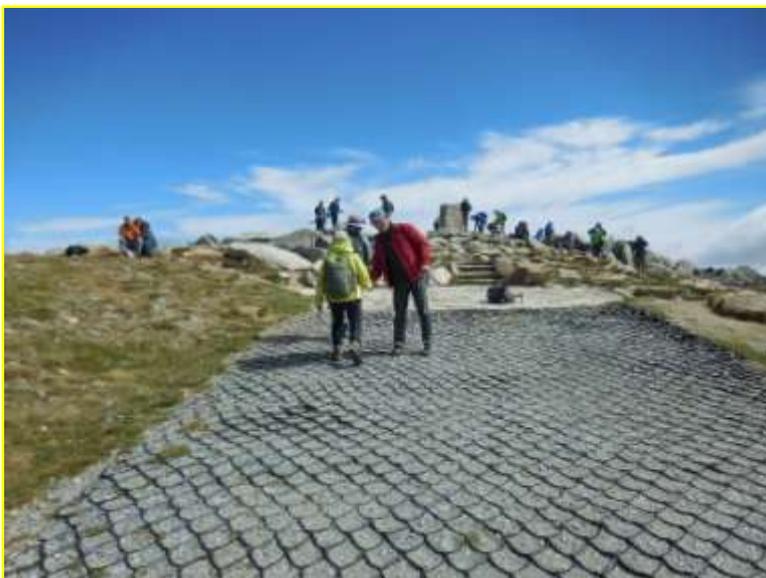
シドニー観光の翌日、専用車のバスでブルーマウンテンズに向かう。テレビの旅番組で数ヶ月前に見たばかり、期待にわくわくする。ユーカリの樹海がブルーに染まる広大な大地に到着するころに、雲天から青空になってきた。パンフレットの表紙になっている、とっておきの展望台に案内された。私達の貸し切りだ。鳥になって飛んで行きそうな気分になる。

暑いのでは？と心配していたトレッキングは、ほとんど樹林帯の道を歩くので快適だ。ガイドの説明も丁寧で解りやすい。木の名前一つ一つにも歴史が絡み、その由来から今に至るドラマがあった。

ランチを挟んで、案内されたトレッキングルートにはどんどん人が増えて行った。日曜日なのでファミリーも多いが、他国からの観光客なのか？オーストラリアに住んでいる世界各地からの移民なのか？わからないが「ハイイ」とタッチしたり「こんにちは」と挨拶したり、苦しくないハイキングは楽しいな。

2〜3日かけてブルーマウンテンズを回ってみたいものだと感じた。

オーストラリア大陸最高峰『コジオスコ山』は、スキーリフトで1927mまで行き、2228mまで鉄ネット（木道のように）とゴムのネットで守られたゆるい傾斜の登山道が山頂まで続く。大勢の登山者がいる。「山は寒いよ」と言われていたが、これ程寒いとは思わなかった。オーストラリア風邪菌にやられた人が多く、マスクをしての歩きは辛いのでいつもの賑やかさはない。



だからこそ、参加者全員が山頂に到着したことが、嬉しい！！

バンザイだね。

又一个思い出の宝物が出来ました。

オーストラリア雑感

鈴木 かつ子

ガイドは福島県出身の日本人でオーストラリア国籍の男性、52歳、オーストラリアに渡って30年になるそうだ。滑舌よく話も分かりやすくどんな質問にもよどむことなく答えてくれた。

ドライバーは愛知県出身の日本人で日本国籍の男性、40代？、風邪にはビタミンCが良いと錠剤を配ってくれる気配りの方でした。

シドニーでは五木ひろしがコンサートをしたというオペラハウスやハーバーブリッジ、セントメアリー大聖堂を見学。雨の中ハーバーブリッジの頂上のアーチを歩いている人がいた。「歩いてみたいなあ」、お値段はとっても高く18000円！

リンカーンズロックでは柵も手すりもない岩の縁に腰かけて記念写真を撮った。男性より女性の方が度胸がいい。風が吹いたら怖い！崖の下には車が数台落ちていた。

一番印象に残ったのはジェノランケーブだが、鍾乳洞入口は倉庫の扉みたい、3億4千年前の世界最大の鍾乳洞とのギャップに苦笑した。照明は常時点いているわけではなく、観客が着いたところでライトアップされたり、最後に音楽を聞かせたりと、演出、サービス精神に感動した。環境にやさしいLED照明なのも良かった。



鍾乳洞入口

食事はステーキ1枚が300g、とにかく何でも量が多い。ジャガイモは毎日食べたからしばらくいいかなと・・・スイカは美味しかったですよ。日本と違って料理が出てくるまでに時間がかかるが、その間おしゃべりを楽しむのがオーストラリア風なのだそうだ。

トイレチップがないことや水がそのまま飲めることもオーストラリアのいいところだ。トイレチップや水代も6日間滞在したら結構な金額になる。

オーストラリアの大自然を満喫した6日間だったが、一つ残念なことは5日目から咳をする人が多くなり、翌日のコジオスコ登山が辛いものになったことだ。マスクをして黙々と歩く。それでも登頂の達成感は格別で、360度の展望に「来てよかった」と思った。

千葉県連海外登山<世界七大陸最高峰の一つに挑む>

オーストラリア大陸最高峰「コジオスコ山 2228m」に登る！

安彦秀夫

期日：2019年3月8日（金）～15日（金）<7泊8日>

参加者 CL：安彦、SL：桐生、M：加藤、鈴木か、五十嵐朝、嶋本、
菊池、羽鳥、井上勝、逢地、山口洋、山口幸（12名）

他に4会から7名（男性4名、女性3名）参加 → 総合計19名



山歩きをする人であれば誰でも容易に山頂に立てる『世界七大陸最高峰』の一つに登りたくなるのでは…と思います。その山をキリマンジャロに次いで企画し、県連の仲間と一緒に山頂に立つことができました。

併せて、世界遺産『ブルーマウンテンズ』のトレッキングや世界最古『ジェノランケーブ（鍾乳洞）』の見学も満喫しました。更に、野生のカモノハシやカンガルーも見ることができました。

車移動では、大きな牧場がどこまでも続く道を延々と走り続け、小さな田舎町 TARALGA（タラルガ）の小さな店（Taralga General Store/雑貨店）に参加者19名全員で押し寄せ買い物をしました。ガイドの話では、『恐らく初めて日本人を迎えたのでは…』とのことでした。オーストラリアの国土の広さを実感したドライブ（車移動）でした。

その後、車の燃料フィルターの交換の為、途中の町 COOMA（クーマ）に立ち寄りしました。作業中に、他の皆さんがスーパーを覗いたりしている間に、私はアウトドア店でコジオスコ山登山地図を手に入れることができました（\$6.95）。

今回も裏話を主に報告し、感想は他の参加者に委ねます。

<1> コース決定

『コジオスコ山』と何をセットにするか…?ということで、いくつかの案を考えました。①ブルーマウンテンズ、②タスマニア島、③エアーズロック 等

費用面で、『ブルーマウンテンズ』に絞ったものの、更にもう一つ…と考え、旅行会社に相談したところ、現地より『ジェノランケーブ』が提案されました。初めて聞く名前でしたので、インターネットで調べ、『訪れる価値あり!』と判断し、目的地の骨組は決まりました。

更に、『世界三大美港シドニー』と『首都キャンベラ』の観光を加えました。

<2> 成田～シドニーの経路

直行便(JAL)はあるものの帰国便が早朝発の為シドニー1泊が増え費用が大幅にアップすることで諦めました。また、羽田からの直行便(ANA)もありましたが、成田発着に拘っていたので考えませんでした。そこで経由便を検討し、香港経由のキャセイ・パシフィック航空に決めました。結果的に長時間のフライトにはなりましたが、香港の雰囲気は少しは味わえたのでは…?



<3> ホテルでの出来事

ホテル1泊目のシドニーで、ハプニングが続出しました。

- ① 部屋に入ったら、既に他の客の荷物があり、直ぐ、部屋を替えて貰ったようでした。たまたま先客は出かけていたようで、鉢合わせをしなくて良かったですね。『ダブル・ブッキング』は良くある事なのかな…?
- ② 『2ベッド』の予約に対して『1ベッド』の部屋があったようです。しかし、該当者が了承し、そのまま利用したようです。寝返りを打つ度にベッドが大きく揺れ、良く眠れなかった…とか。妥協せず主張しなければ…。
- ③ 『バスタブの栓が無い…』と部屋を訪ねて来られましたが、遅い時間だったので、自分たちの部屋の栓を渡して対応して貰いました。その際、エレベーターを使おうとしたが、動いてくれなかったので階段を利用したようです。フロント階と自分の部屋の階のみしか利用できないようにカードキーが設

定されていたのでしょうかね（未確認です）。

- ④ 朝食に現れなかった2人に、『もしかして時差+2時間を忘れていたのでは…』
と思い電話を架けたら、やはり部屋にいました。何とか集合時間には間に合
うことはできましたが…。集合時間に来ないということで、それから動き出
していたら、ホテル出発が遅くなったことは間違いなしでした。
このような勘違いを無くす為、私は、アナログ式の『目覚し時計』を準備し、
必ず現地時間に合わせ、『目覚し時間』のセットをしています。

<4> 食事と飲み物

ブルーマウンテンズのトレッキングの際の昼食弁当は、味は良かったのですが、ボリューム満点で多すぎて完食するのに苦労しました。冷たいお茶が美味しかったです。ドライバーが昼食場所に弁当とお茶を車で運んでくれました。

帰国日のキャンベラの日本料理店での昼食は、日本食レストラン『庵 IORI』で摂りました。日本で食べる料理と遜色なく美味しくいただけただけの上に、和服姿の若い日本人の美人マネージャーに癒されました。

ホテルやレストランなどでは、料理の種類が多いビュッフェ式で、味も違和感なく美味しく食べることができました。勿論、OG ビーフも堪能しましたよ！

反面、交通の便の悪いジェノランケーブの最初の夕食やコジオスコ山下山後のオーストラリア最高所（1937m）レストラン『イーグル・ネスト』の昼食は、味は良かったのですが、何かが足りないのでは…と感じました。

一方、楽しみにしていたビールでしたが、今回は『旨い！』と思う味に残念ながら出会えませんでした。結果として、毎夜違う銘柄を味わうことになりました。未だに『エール』と『ラガー』の違いを十分に把握できていません。



<5> 体調不良者続出

誰が最初なのか…は定かではありませんが、程度はまちまちでしたが風邪症状に悩まされる人が続出しました。帰国後、病院に行き、『気管支炎』や『インフルエンザ』と診断された人もいたようです。

私も、5日目（3/12）のジンダバインでの夕食時に寒気を感じました。バファリンを飲み休みました。翌朝になっても熱は高いままでしたが、コジオスコ山登山を敢行しました。下山後夕食までの間、ホテルでシャワーも浴びず横にな

りましたが、相変わらず熱があり喉が痛かったです。帰国日にガイドから貰った薬を飲み、熱は下がり幾分動きも楽になりましたが、喉の痛みは改善されず、声も出せない状態が続きました。帰国後5日経過しほぼ快復してきました。

<6> コジオスコ山 2228m登頂

向風が強い中、喉が痛く熱っぽい為、会話もせず黙々と単調な金属製格子の道をゆっくり歩きました。格子の道の下や周りには、白や青などの可憐な花々が咲いていて癒されました。『ローソン峠 2125m』では、寒けが急激に襲ってきて身震いするほどでしたが、日差しの中を歩いているうちに、その震えもどっかに行ってしまったようでした。山頂に着いた時は、『もう登らなくとも良いんだあ…』と思い、ホッとしました。展望は360度ですが、目立ったピークは全くなく、なだらかな山々がどこまでも広がっていました。

全員で記念写真を撮り、来た道に戻り、オーストラリア最高所レストランで昼食を摂り、4人乗りチェアリフトで山麓の村『スレドボ』に降り、バスにてホテルに戻りました。

世界七大陸最高峰の1峰に登頂した喜びに浸る余裕もなく、早く横になりたい…という気持ちでバスに揺られていました。

<7> 山行を終えて

風邪(?)を引いた人が多かったようですが、大きな怪我・事故もなく終了することができてホッとしています。

また、天候も味方してくれ、コジオスコ山登山を初め、ブルーマウンテンズの『Cliff Top Track』やジェノランケーブ近郊の『Six Foot Trail』のトレッキングの際には、夏を思わせるような太陽の下を歩くことが出来ました。

現地の旅行会社『IEC Oceania Pty. Ltd.』の話術巧みなガイドの説明により、楽しくオーストラリアの大自然を全身で味わうことができました。

また、今回の山行を手配し、私の希望を現地の会社と粘り強く交渉していただいた『株式会社ワイルド・ナビゲーション』に感謝します。

更に、不手際もある中、辛抱強く協力をしていただきました参加者の皆さんに感謝します。ありがとうございました。(2019/3/20/Wed.)



志賀高原スキー

やまびこ 1月号、2月号から『スキーをしてみませんか』・・・

『スキーをしてみました』

日 程：2019年2月26日（火）～2月28日（木） 26,27日晴れ、28日小雪

参加者：池谷、羽鳥、金沢（羽鳥さんの友人）、石塚（記）

昨年からスキーの会山行を初めて実施していただき、会津たかつえスキー場に44年ぶりに行きました。独身の頃に6回だけ経験し、へっぴり腰ボーゲンでスピードは出せないまま、スキーに封印をしていました。

会津たかつえで池谷コーチに菅原さんと一から教えてもらい、志賀高原に池谷さん、羽鳥さんで行き、奥志賀まで連れて行ってもらいました。

奥志賀から丸池までの帰り道は、リフトに間にあわないかもしれないと言われ、必死に転ばないように滑り、リフトに滑り込みセーフでした。

今年は玉原スキー場の日帰りを畑中、菅原、蓮見、池谷、畑中さんの友人2名と石塚の7名で行きました。池谷コーチは蓮見さん担当でした。

さて今回の志賀高原は、またまた池谷コーチに個人教授をお願いしました。

大分慣れたので、ビュンビュンスピードが出すぎ、転んだ転んだ～。

頭が下になりズルズルさがる。やっと止まってもどうやって起き上がるのか、わかりません。池谷コーチがすぐに来て、足の揃え方のアドバイスがありました。私には急坂なので体の位置を直すのが怖かったです。

後で「その場所は昨年暮れに清水さんが鎖骨骨折した所」と言われてびっくりです。

羽鳥さん紹介の宿は食事が美味しいし、おしゃれな感じでお気に入りです。

12 畳に私一人の贅沢な時間でした。夕食は男性3名がとても褒め上手ですから、アルコールも入り良い気分になってしまいます。下手な私に付き合ってください4名一緒にスキー場を移動でき、とても幸せです。



個人山行スキーには無理だと思っても会山行ならコーチ付です。初心者コースを一緒に楽しみましょう。

私のウエアーは山用です。ゴーグルがあればスキーに行かれますよ。

念願叶って 「八方」へ

2019年3月12日(火)～14日(木) 池谷、井上順(記)

「オリオンスキーバスツアー」二泊三日・リフト券3日付き ¥25,000
今シーズンどうしても行きたかった「八方」。池谷さんも同じ思いだったので、このプランを利用して二人で出掛けて来ました。

新宿発 6:50、途中鹿島槍、五竜のスキー場経由で八方バスターミナル 12:30着。高速を降りてからは、冬枯れの寂しい安曇野をトコトコ走る長旅でした。

下車後タクシーで名木山ゲレンデに直行。着替えてリフトに乗る。先ずは山頂から五竜岳を眺める事。ところが残念無念雲の中。諦めて滑り始めたが、湿り雪で重く荒れた雪面。雪に取られる板を力づくで押さえていたためか、すぐにクタクタ。それでももったいない精神で3時間頑張った。(馬鹿みたい)

二日目は断片的に降る雪の中、上級コースを除き一日ゲレンデ巡り。

三日目は「八方おろし」で出鼻をくじかれた。天気が良くなるとの情報で、真っ先に「兎平」まで上るとそこは雪嵐。山頂へのリフトは運転中止。止む無く滑り始めたが、山頂から吹き降りる強烈な風は、雪を舞い上げ行く手を阻み何も見えない。斜面途中で何度も釘付け。飛ばされないようエッジを立てて身をかがめストックで踏ん張り続ける。視界が少し良くなると滑り始め、再び釘付けになる繰り返し。やっとのことで麓に着いた。(イヤー参った参った)。

ゴンドラも止まっていた。動いているのは名木山一本目のリフトのみ。スキーヤーが集中し、リフト乗り場は長蛇の列。ゲレンデも人人。広い八方でも此処だけ。午後になってリフト、ゴンドラが動き始め、早速「兎平」まで登ったが、五竜は相変わらず雲の中。結局あの雄大な眺めはお預けになってしまった。

八方は中級コースが主体。斜度があり且つ長い。急斜面はごまかしがきかない。腰が引けるとすぐに板が走りコントロールが効かなくなる。必死に自分に言い聞かせながら姿勢を正す。未だ体で覚えていないのだ。手抜きを許さない厳しいゲレンデ、これが八方なのか・・・。

池谷さんはかつて来た事があり、次々とゲレンデを案内してくれたおかげで上級コースを除き一通り滑ることが出来た。一人では不安でとてもチャレンジ



出来ない。今シーズンの最後(?)を飾るにふさわしい、そして再度訪れたいスキー場になった。

池谷さん、ありがとう。
お世話になりました。

二日目 雪降る中のゲレンデめぐり 池谷さん

『スキーをしてみませんか』 最終回

——今シーズンを振り返って——

池谷 通隆

♪♪ 雪が解けてきた～、ほんの少し(じゃない)け～れど、
私の心の中～は ♪♪

早いな～、スキーシーズンも終わりに近づいてきた。でもこうしてスキーに明け暮れていると(誰かさんだって、山に明け暮れているじゃな～い)寒くて、嫌いな冬の4ヶ月があつという間に過ぎてしまうのもいい。

今シーズンのスキー、お疲れ様でした。温泉でフヤケたし、お酒もおいしかったよー。

うれしい報告第一報！井上氏がバッチテスト3級に合格、やったね、バンザイ！氏はスキーを始めたのが70歳になってから。他のメンバーは若い時にやっていたから〈再開〉になるが、彼は全くのバージンスキー。

4年前「玉原」がデビューの舞台。その第一印象は〈その腰つきはなる程のバージンだ！〉。女性のインストラクターに付いたのが、継続できた主要因かもしれないが・・・山もスキーも〈努力の人〉だから、その後メキメキ上達して今日を勝ち取った。我がチーム唯一の「級保持者」が生まれたのはうれしいな一。さあ、来期からは2級目指して更に頑張りましょう。

昨年デビューの菅原さん、石塚さん、うまくなったよ。

菅原さんのそのフォーム、「手を広げて新聞を読むように(岡部コメント)」「おとうさんを抱くように(?さんコメント)」と色々な言い方はあるが、そのどれでもピッタリの形にはまっのターンは初級合格、来期更なる向上を期待。

石塚さんは昨年「50年ぶり」と言っていたが、サバ読みを半分とみても30年ぶり近くにはなっている。昨年のデビューでも〈こりゃ、いけるな〉と感じたが、今年は驚くべき上達。シーズンオフの夏に、一体どんな体づくりをしていたのか。やっぱり〈山の足〉だね。強いねー。2月末の志賀高原の3日間は、4人全員で同じコースを滑れたものね。焼額山の急斜面を滑った後に、「ここは清水さんが転んだ25度の急斜面だよ」と言っても余り驚かずに、顔、ケロッ！としていた。何と鉄人サッチャー。2年目だよ。〈スキーは根性と度胸〉と再認識。私にも無いよ。更に特記すべきは、その隣のオリンピックコースの30度の壁を、羽鳥氏と友人が滑って行った。すごいな～みんな。

今シーズンデビューの蓮見さん、金子さんに少しの不安と期待が交錯していたが、楽しみだった。蓮見さんも「オグナほたか」でデビューの全くのバージンスキー。初日から〈少しやり過ぎかな〉と反省するも3日目になると、もうプルークでターンができた。前述のように、デビューの井上さんだって3日目では曲がれなかったよ。スキーの後日は感想を聞くのがいつも怖かったが、その1週間後に「玉原スキー」を本人自ら企画してくれた時は安心と嬉しさが一杯だった。日帰りスキーで滑る時間は少なかったが、山頂まで連れ込んで(いやらしい言い方)、下までのコースを一度も転ばずに滑れたのは大収穫だった。やっぱり〈根性と度胸〉だね。来期も楽しみ。

金子さんも何10年ぶりと言っていたが、アドバイス不要で「ガンガン」とはいかないでも「ドンドン」と滑って行った。「宝塚のデビュー」では、ニューフェイスは目立たぬように最後列で地味に踊るといって・・・。

畑中さんも3年目の新人？だが滑りは上級(お酒も)だし、女性をよくまとめてくれました。ありがとう。

さて、これで、この3～4年間で男性3人、女性は6人もメンバーが増えた。これ以前の古い？(悪い言い方でごめんなさい。ベテランと言い直そう)メンバーも同数位居るから、全体では20人位になる。今シーズンはスケジュールが合わずに、ベテランメンバーと一緒に滑る機会が無かったが、来期はみんなと一緒に滑りましょう。安心していると、チコちゃんに「ボヤッとしていると新人に追いつかれるぞ！」と、叱られるぞ。それにベテラン組は次のステージに行かないとこの先の興味は半減してしまう。

来期の会山行スキーは1回でなく、2～3回の企画を提案してみます。そして新たにデビューする人を期待しております。

本当に今期のスキーお疲れ様でした。(まだ行く人もいるでしょうが)これから春夏の山で足腰を鍛えておいてください。清水氏の復帰も期待しております。

私は「これから〈冬眠(夏眠)〉に入ります。zzz・・・」といつもは報告していますが、今シーズンの股関節開脚リハビリは前述のように、みんな早く上達してしまっているのだから〈プルークボーゲン〉の時間が少なく、開脚に少し不安が残りますが、余り夏眠せずにハイキングに励みますのでよろしくお誘いください。

山に登らず、電車汽車に乗ってきました

3/5～3/9 小林正人

大人の休日クラブ東北北海道 5 日間乗り放題 26000 円を利用しました。

- 1 日目 鎌ヶ谷～稚内 約 1500km
- 2 日目 稚内～網走 約 500km
- 3 日目 網走～帯広約 300Km
- 4 日目 帯広～小樽 約 250Km
- 5 日目 小樽～鎌ヶ谷 約 1250Km

1 日目 鎌ヶ谷駅 5:31 発～稚内駅 23:47 着 ホテルチェックイン 24:00。最初の駅弁はやはり幕の内弁当です、仙台近くのひろせ川、水がちよろちよろ。八戸過ぎたら雪景色

小心者には長過ぎトンネル北海道。乗り継いで札幌、赤レンガ雪まつりの残雪、山ではない白樺山荘で味噌ラーメン。旭川駅変貌していた、イオンに直結。稚内へは 20:06 しかない。

はやぶさ新函館北斗、スーパー北斗 (281 系) 札幌 カムイ (781 系) 旭川 サロベツ (261 系) 稚内 樺太への輸送基地、最北端の稚内駅。1500Km でした。

2 日目 一応宗谷岬へ 1 度曇天、近くて遠い島は見えない。陳腐だがカモメが飛んでいた。

稚内から旭川に戻る雪が降っている。旭川駅から網走駅へ途中でブレーキ故障のアナウンス。雪真っ暗でも 5 分ぐらいで発車、遠軽で方向転換 21 時網走着。吹雪いている。宿は駅前だが牛丼屋しかない。タクシーで食べに行く。地酒がうまいおにぎり 2 個持ち帰る。サロベツと大雪 (183 系)

3 日目 6:41 発始発釧路行き一両です。ここにも中国人らしき人。流氷のかけらしきものを見ながらオホーツク海沿い走る。学生は一人として乗って来ない摩周の駅もひっそり。この時期釧路湿原駅は閉鎖されていた。各駅停車でも通過。10 時丁度釧路着。バスにて釧路

湿原展望台へ、私一人しかいない。周回コースは閉鎖、木道 1200m で展望台確かに湿原の広さ、大きさがわかる、20 分ほど青空のした良い時間でした。丹頂らしき 2 羽見えた。釧路に戻りきっぷ見せ 10%引きで花咲かに弁当、ビールは北海道どこでもサッポロクラシックです

根室本線で帯広、タクシーにて日帰り温泉安くて立派。この平地よほど掘っ

たのでしょう。でも髪、体洗うものがない自販機に色々ボタンがあった。〇〇チンで買いにいけない。宿に行きユニットバスで洗う。帯広の目的は屋台村です。今時の屋台は提灯のイメージはない30軒位あったが各国の料理という感じ私日本人は（単なる年寄り）刺身、地酒のワンパターンで満足、一尾 300 円のししゃもがうまかった。 おおぞら（283系）

4日目 新札幌へ。トマムでは外国人家族のスキー客大勢乗車、新札幌で快速エアポート小樽行に。根室本線、石勝線、千歳線、函館本線で小樽です。目的は手宮線歩きです、南小樽駅から手宮までの貨物線、当然廃線になっているが線路の一部が残っている。雪の積もっている線路歩きで汗をかいた。歩いた先が寿司屋横丁です。退職後板さんが目の前で握るすしに緊張する、イカそうめんにウニが付いていてたれにウニを入れて合わせて食べる、鯿の握り初体験時鮭が大トロよりインパクト大。7000 円はやむを得ないかな。

5日目 小樽でお土産ガラス細工。疲れた。家に帰りたくなった。21:30 分着。体重は年齢と同じになってしまう。

最北端の稚内駅



オーストラリアの旅をふり返って

羽鳥健一郎

(シドニー)

若き日に八十余国放浪し豪州に住みガイドする人
岩削り作られし椅子に腰を掛けマダムは遠きイギリス思いしか
シドニーのセントメリー大聖堂秋空の下堂々と座す
大聖堂中に入りて着席し暫しの間静かなる時過ごす
各人が部位を選んで焼き上げるオーギービーフは野性味溢れ

(ブルーマウンティンズ)

恐々と岩の上から覗き込むキングステーブルランド絶景



(ジェノランケーブ)

移動日は似たる景色が何回も車窓を飾る広し豪州
早朝のブルーレイクの静けさよカメラ片手にカモノハシを待つ
漆黒の闇に三億数千年かけて作られし鍾乳洞は
ひょっとして黄泉の国とはこんな所^{よみ}ジェノランケーブ^{とこ}の鍾乳洞よ

(ジンダバイン)

リフト乗り 1900mへ 15分リュック抱えて空中散歩す
スレドボのリフトに乗りて思い出す去年に登りし志賀の山々
豪州のスキーの聖地スレトボを基点に登るはコジオスコ山
空青く風吹きつける登山道シニア仲間とコジオスコ山めざす



晴天のコジオスコ山頂に十九人の山仲間ら立つ
マウンティンバイクを積みし若者らリフト終点目指して登る
豪州のスーパーで買いし風邪薬飲みて今宵は休肝日となる

(キャンベラ～シドニー)

新しき首都キャンベラの明るさは議事堂内にも感じられたり
キャンベラの戦争記念館巡るひと時が伝える事の重みを教えし
異国でのスーパー巡りは新鮮よバラマキ土産をあれこれゲットす
豪州のメリノウール手袋を時季外れながら買い求めたり
強力な豪州育ちの風邪の菌バスの車内はマスクが増える
行き帰り機内食攻めに会いながらビールワインと堪能したり
初めての他会の人とも打ち解けて一味違う異国の旅に

陣馬山

加藤 延子

始めて陣馬山に登ったのは、昭和 57 年(1982 年) 3 月で女性 4 人組でした。

地図の見方・電車の使い方もわからず、連れて行ってもらう山行、頂上での休憩時には、いつもリーダーが美味しいものを出してくれて、余裕のない私には癒しのタイムでした。その時見た陣馬山象徴の「白馬像」は汚れた灰色に見え、後方の富士山の雪化粧が際だって白く見えていました。

記録を見ると、京王線経由で八王子からバスで陣馬登山口へ、歩き始め 9 時～藤野へ下山 3 時、電車賃、藤野～津田沼 1080 円でした。

その頃は「電車賃高い～節約！」と云いながら鉄道にかなり貢献しました。

上記から 32 年過ぎた平成 26 年(2014 年) 5 月、山から少し遠のいていた渡辺実さんが「もう一度山に挑戦してみたい…」というので、和田峠から一時間の陣馬山をご一緒しました。少し自信が無さそうでしたが、歩き始めると心配は杞憂、今までの歩きと変わらぬ力強い歩調で頂上に着きました。

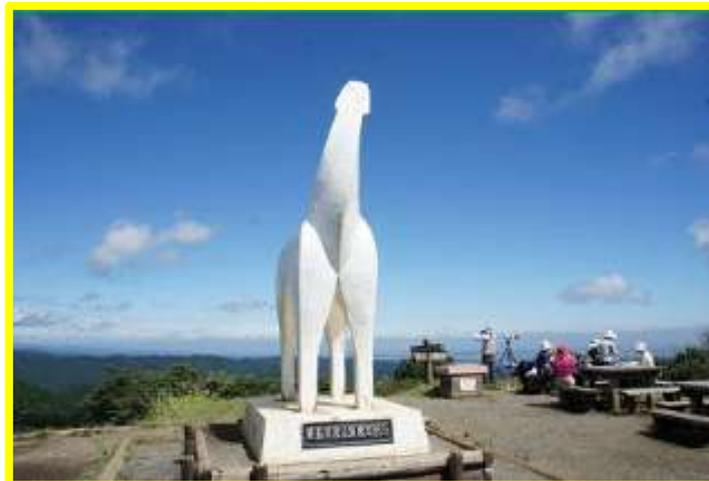
青空に映える「白馬像」は真っ白で大きく、天に向かって嘶き、登山者に元氣と癒しを与えてくれる誇り高さ像でした。

富士山をながめながらの昼食となり「山で食べるとうまいな～」と大好きな赤飯おにぎりを美味しそうに頬張るピチピチ顔の渡辺さんでした。

「帰りコースどうする?」「もう少し歩けそうだな・・・」とのことで、一番親しんだコースの明王峠～与瀬神社へ下山。2 時間 30 分でしたが、確かな下山の足運びに又一緒に山歩きが出来そう…と期待をしたのを思い出します。

この山行が渡辺さんの最後の山登りとなりました。渡辺さん 85 才でした。

陣馬山・白馬像、思い出が一段と深～～くなった山となりました。



5 月号は岡部さん、6 月号は桐生さんよろしくおねがいします。

ちょっと一言

子供の成長は早いですね。自転車に乗れるようになりました。運動会での徒競走は常にビリでしたが、教えた結果、ようやく後ろから二番目になりました。1回しか飛べない縄跳びが連続してできるようになりました。先日初スキーに連れて行きました。初めて乗る新幹線に大興奮。一日目は子供を抱えて滑りましたが、二日目はボーゲンができるようになりました。私は下半身重度の筋肉痛です。去年筑波山と高尾山をケーブルカーを使用して登りましたが、今年は下から登ろうと思います。子供は益々大きく成長しますが、私は益々年を取っていきます。しょうが無いですね……。

(鈴木 隆司)



私にとっては大イベントの“オーストラリア山行・観光を何とか無事に終えて成田へ、安堵感と充足気分で乗ったスカイアクセス車窓から見えた河津桜・辛夷の花が一段と美しく見え、満ちた気分で我が家へ着きました。

一休みし!…テレビを入れると、飛びこんできたのがニュージーランドの銃乱射テロ事件、49人の犠牲者とか。安全な国と言われ、鎌ヶ谷との姉妹都市、観光で訪れる日本人も多く、私も旅行では良い思いをさせてもらい、身近な国のひとつになっていたの、ザワッ!!と寒気がくる位に驚いてしまった。

犯人がオーストラリア人…これも驚きだった。何時間か前、楽しい観光をしてきた国で、ガイドさんから、「この国はバランスの良い移民政策で発展している」と聞いたばかりでしたから…。遠い国の話ではなくなったようです。

日本も移民問題はこれから…日本の国は、日本人いっぱいなのですが、そもいかなない時代に突入です。多民族の方との付き合い方も知っておかねばいけない時代なんですね…

(加藤 延子)

5月号の担当は、岡部さんと桐生さんです。よろしくお願ひします。

(4月の第2例会までをメドに、原稿を高山宛メールにて送付ください。)

編集後記

今年白寿を迎える母が一人暮らしなので、今年もまた島根県の隠岐の島と千葉を行き来する生活になりそうです。隠岐にいる間も足腰を鍛えようと、介護や山仕事の合間に島内の山登りにチャレンジしています。隠岐の山は、海からいきなり盛り上がっているため、なかなかの急登が多く侮れません。最高峰は標高605mの大満寺山です。先日は中世、隠岐守護代佐々木氏の居城だった国府尾城（山城）にも登ってみました。今でも館跡や切堀跡、佐々木一族の墓などが残っています。故郷の歴史に想いを馳せるのもなかなかロマンがあり楽しいものです。隠岐は歴史が古く、歴史的な遺跡や遺物、場所などがたくさんあるので、これからは登山やウォーキングを兼ねながら巡ってみようと思っています。

（前田 悟）

若い頃、新聞をよく読むと「いろいろな情報が得られ誰とでも話の接点ができる話題豊富になるよ」って話してくれる人がいた。

それから、それなりに時間をかけて読んでいるつもりだけど、やはり興味のあるところのみ集中するのは仕方ない事なのでしょうね。それよりも字がだんだん見づらくなってきているのが現実で悲しい！！

（やまわき）

原稿作成要領

用紙設定 A4

余 白 上下左右 30mm

フォントサイズ MS明朝 12P

※原稿締め切り、毎月第二例会までをお願いします。

<担当>鈴木か、前田せ、高木、山脇

写真は1ページ1枚とさせていただきます。

手書きも大歓迎です。会報部員に渡して下さい。

発行日平成31年4月1日

発行者 東葛山の会

会長 安彦 秀夫

編集者 梅田 尚志